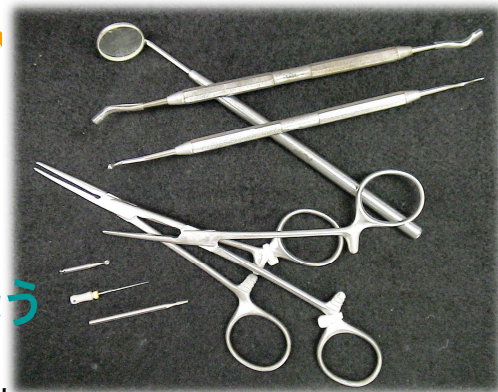




その器具は、汚れていませんが

簡単な試験で、洗浄後の器具の清浄度が確認できます！

見えない汚れを見てみましょう



《アミドブラック10Bとは…》

蛋白質に酸性色素(濃い青色)が定量的に結合することを利用した試薬です。

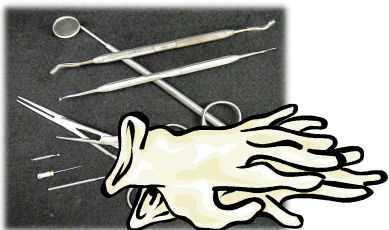
直接判定法における色素判定法として活用してください。

本剤は、検査部門での、蛋白質の同定や、蛋白分画などの電気泳動操作に利用されています。

確認試薬 / アミドブラック10B

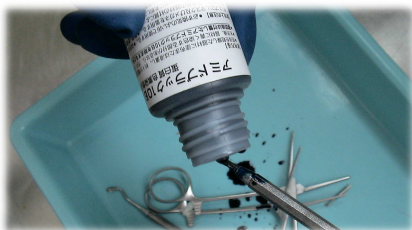
試験方法

STEP 1. 準備



洗浄後の器具と手袋やエプロンなどを用意してください

STEP 2. 染色



器具にまんべんなく試薬を塗布します

STEP 3. 放置



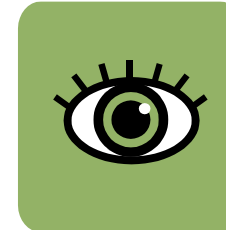
塗布後、約1分間放置します

STEP 4. 水洗



流水下で、擦らないようにしっかり水洗します

STEP 5. 判定



目視で、水洗し切れない箇所が蛋白質の残留となります

結果確認



アミドブラック10Bと蛋白質が結合すると流水下では色素が除去できません。

つまり、水洗後(STEP.4)の器具に青黒く色素が残留している箇所に、まだ蛋白質が残っていることとなり、洗浄が不十分であることが確認していただけます。



試験前



試験後



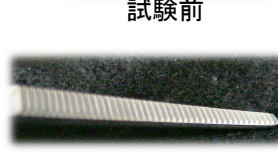
試験前



試験後



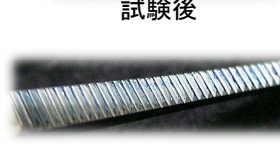
試験前



試験前



試験後



試験後

- * 染色してしまった器具は、アルカリの洗浄剤などに浸漬することで、色素は除去できます。再度染色して色素が確認できない程度まで、洗浄していただくことをお勧めします
- * 試験方法および、試験結果などについてのご質問は… [クリーンケミカル\(株\) TEL072-632-2253](tel:072-632-2253) まで、お気軽に連絡ください。